

# 朝日新聞

2007年(平成19年)

7月3日

火曜日

天気 6 9 12 15 18 21時

|     |   |   |   |   |   |    |    |
|-----|---|---|---|---|---|----|----|
| 水戸  |   |   |   |   |   | 0  | 28 |
| 宇都宮 |   |   |   |   |   | 30 | 22 |
| 前橋  |   |   |   |   |   | 30 | 21 |
| 長野  | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | 0  | 29 |
| 千葉  | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | 0  | 23 |
| 東京  | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | 0  | 23 |
| 横浜  | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | 0  | 23 |
| 甲府  | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | ☀ | 0  | 20 |
| 静岡  |   |   |   |   |   | 10 | 22 |

朝日新聞東京本社 発行所：〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 電話：03-3545-0131 www.asahi.com

## 31年ぶり参戦 完走2回 「もう一度挑戦したい」 熊谷の渡辺さん



マン島TTレースで奮闘する渡辺正人さんのチーム(現地の写真家アラン・ブラウンさん撮影)

## 世界最大の公道レース「マン島TT」

世界最大の公道レース、英領マン島のツーリスト・トロフィー(TTF)のサイドカー部門に、日本人として31年ぶりに出場した熊谷市玉井1丁目、測量会社経営渡辺正人さん(43)が、レースで無事完走を果たし、このほど帰国した。「ライダーの聖地」と呼ばれ、今年100周年を迎える伝統のレースに参戦した感想を聞いた。



渡辺正人さん

「約60kmのコースを3回したか。」

「チェッカーフラッグを受けると、観客が拍手やハイタッチで祝福してくれました。完走が目標だったので、こんなにうれしい経験は初めて。」

—日本のレースとの違いは。  
「公道レースなので荒れている路面を走らなくてはいけない。マシンが弾み、予想以上の体力が必要だ」「建物や木の陰で先の見えないコーナーが多く、怖くてアクセル

「観客がすぐ脇で観戦している。事故に巻き込まれ

を思い切り踏めない。60回くらいコースを下見しました。覚え切れなかった。」

—100年の伝統は感じましたか。  
「観客がすぐ脇で観戦している。事故に巻き込ま

まれる可能性を考えると、日本では考えられません。観客も危険をおりこみずみで自己責任で観戦しているのでしょう。」

—コースは壁で仕切られていたのですか。  
「事故が頻発するきっかけを積み上げられているが、それ以外は何もありません。コースから外れると住宅の壁や林に突っ込んでしまう。危ないと言えは危ない。」

—再度、挑戦の予定は。

「帰国した時、迎えにきた妻から『来年も出るなんて言わないよ』とくきを刺された。レース中ずつと心配だったようです。資金の問題もあって難しいが、もう一度挑戦したい気持ちはあります。」

「約60kmのコースを3回したか。」

「公道レースなので荒れている路面を走らなくてはいけない。マシンが弾み、予想以上の体力が必要だ」「建物や木の陰で先の見えないコーナーが多く、怖くてアクセル

「観客がすぐ脇で観戦している。事故に巻き込まれる可能性を考えると、日本では考えられません。観客も危険をおりこみずみで自己責任で観戦しているのでしょう。」

「事故が頻発するきっかけを積み上げられているが、それ以外は何もありません。コースから外れると住宅の壁や林に突っ込んでしまう。危ないと言えは危ない。」

「帰国した時、迎えにきた妻から『来年も出るなんて言わないよ』とくきを刺された。レース中ずつと心配だったようです。資金の問題もあって難しいが、もう一度挑戦したい気持ちはあります。」

何を感じた。